

＜創業120周年記念事業＞ 神戸大学経済経営研究所との共同研究

中小企業における 「サステナビリティ経営」 ～共同研究報告書概要～

Check!

共同研究に基づくシンポジウム
中小企業の経営変革に向けて
を3月6日に開催しました!

当日の様様はこちらから
ご覧いただけます



「サステナビリティ経営」とは

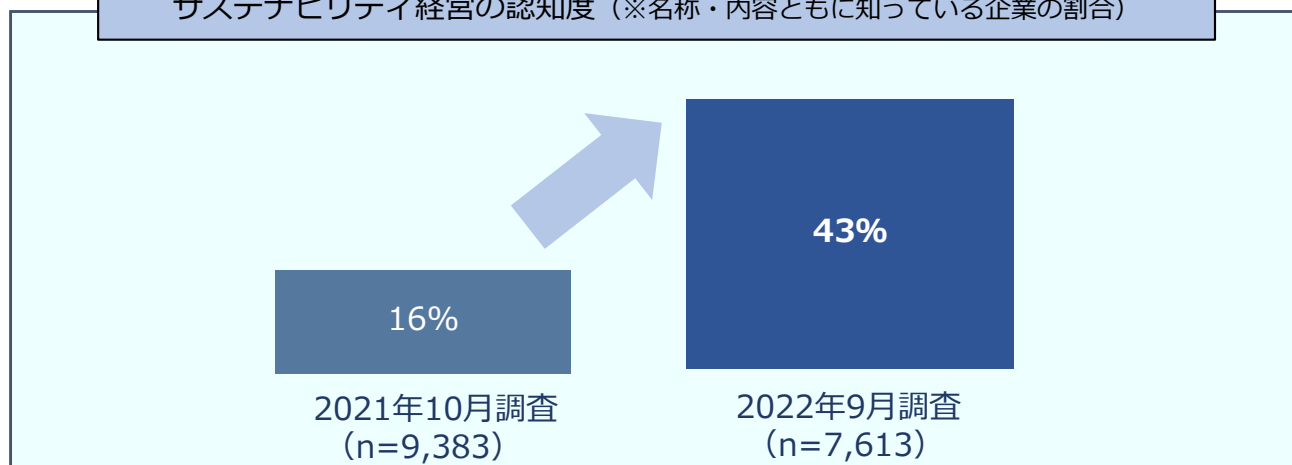
気候変動や環境問題への対応など、SDGs（持続可能な開発目標）に対する社会的な関心が高まっている昨今、環境・社会の持続可能性に配慮し、事業の持続的成長を図る「サステナビリティ経営」は、大企業だけではなく中小企業にとっても大きな経営課題となっています。

具体的な取組みとしては、①社会要請への対応（例：脱炭素・環境に配慮した経営）、②社会価値の創造（例：社会課題解決に向けた商品開発）などがあります。

「サステナビリティ経営」の認知度・関心

「サステナビリティ経営」の認知度は大幅にアップしており、中小企業経営者の関心が高まっています。

サステナビリティ経営の認知度（※名称・内容ともに知っている企業の割合）



（出所）「サステナビリティ経営の取組み状況」、中小企業経営者アンケート調査『大同生命サーベイ』2022年9月調査。

（※）その他、本資料に掲載しているグラフは、上記調査結果によるものです。





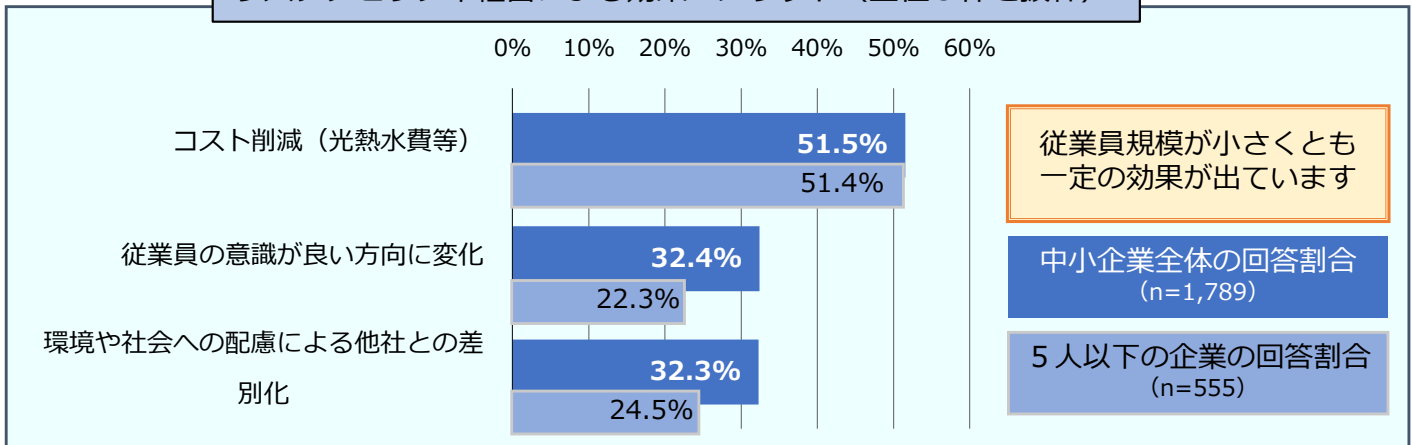
「サステナビリティ経営」の効果・課題

「サステナビリティ経営」の効果・メリット

大同生命サーベイの結果から、サステナビリティ経営を実施している企業は、コスト削減、従業員の意識変化、環境・社会への配慮による他社との差別化などの効果・メリットを感じています。

また、従業員規模や業績によらず、一定の効果・メリットがあり、長く取り組むことで、コロナ等の大きな事業環境の変化に柔軟に対応できる可能性があります。

サステナビリティ経営による効果・メリット（上位3件を抜粋）

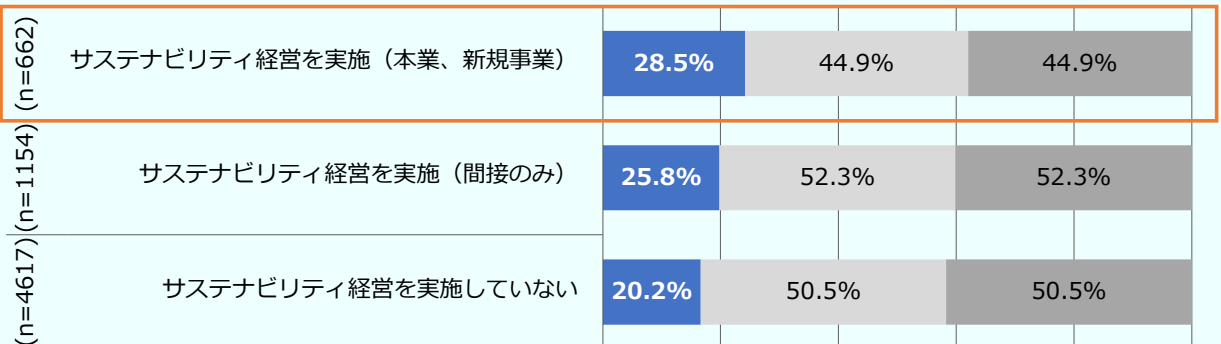


他社と比較したコロナ禍による業績への影響

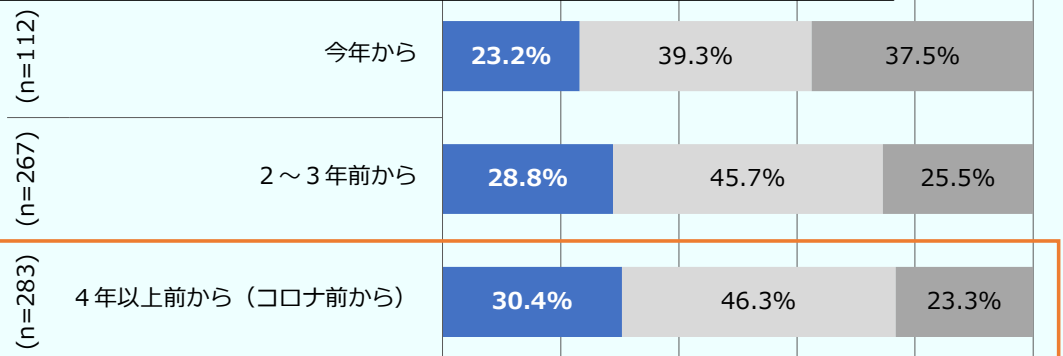
本業・新規事業に取り入れている企業はコロナ禍の影響が小さいです

サステナビリティ経営実施状況の違い

0% 20% 40% 60% 80% 100%



開始時期の違い（サステナビリティ経営を本業・新規事業に取り入れている企業）



長期的に取り組むことで、より効果は大きくなります

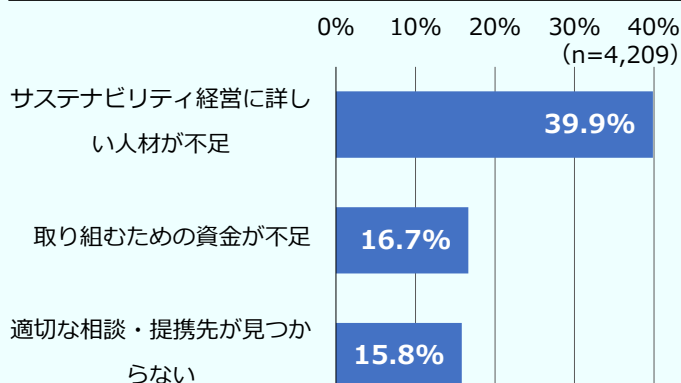
■ 影響はととも小さい、やや小さい ■ 影響は同程度 ■ 影響はととも大きい、やや大きい

「サステナビリティ経営」の課題・解決方法

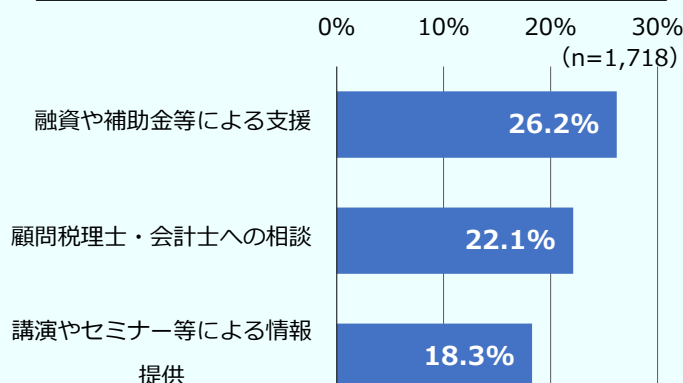
サステナビリティ経営の実施・未実施企業のいずれも、それらに詳しい人材が不足していることが最大の課題となっています。また、サステナビリティ経営を実施していない企業は、適切な相談・提携先が見つからない、資金の不足、社内の理解が得られない、といった課題を抱えています。

こうした課題解決に向けて実際に役立つ支援としては、融資や補助金等による資金面の支援のみならず、顧問税理士・会計士などの専門家や行政・商工会議所などの支援機関への相談、講演やセミナー等による地道な情報収集が挙げられており、課題解決の糸口になっています。

サステナビリティ経営による課題（上位3件）



課題の解決に役立った支援（上位3件）



「サステナビリティ経営」の実践例

中小企業経営者へのインタビューから、「サステナビリティ経営」の実践例を紹介します。

● 斉藤商事株式会社（従業員13名、事業内容:主に企業ユニフォームの企画・卸小売）

（きっかけ）

- ✓ 約20年前にISO14001を取得したのが、サステナビリティ経営のきっかけ。

（具体的な取組み）

- ✓ ユニフォームを通じて、顧客のサステナビリティ経営を支援。
- ✓ ユニフォームは、2013年以降、カーボン・オフセット（温室効果ガスを相殺する制度）が標準仕様。

（効果・メリット）

- ✓ 長年にわたり継続してきたISOが社員教育のツールとなり、人材育成に有効。
- ✓ 情報発信によって採用や新規取引獲得にも好影響。

● 株式会社ニシト発條製作所（従業員22名、事業内容:バネ、建築用部材製造）

（きっかけ）

- ✓ 2021年、自治体が作った地域企業のSDGs活動団体やその団体で活動する経営者仲間とのつながりがきっかけ。

（具体的な取組み）

- ✓ SDGsに結びつけ事業計画に落とし込み。
- ✓ SDGsの視点で自社の強みである「バネ」を活かして新たなビジネス機会の創造を目指す。

（効果・メリット）

- ✓ 積極的に情報発信することで、広告効果もあり、賛同してくれるパートナーが増加。
- ✓ 業績にも好影響。



中小企業経営者の皆さまへのメッセージ

「サステナビリティ経営」は、

- ①遠回りにも見えますが、**長期的な経営力向上への近道**になります
- ②**企業規模や業績によらず取り組む**ことができます
- ③環境変化に対応できる「**打たれ強い経営**」につながります

①遠回りにも見えますが、長期的な経営力向上への近道になります

サステナビリティ経営は、一見負担増で遠回りにも思えますが、自社の真の強みを再認識することで、コスト削減、他社との差別化、従業員意識の変革など経営基盤の強化や新たなビジネスの創出につながり、長期的にはその負担を補ってあまりある経営力の向上につながる可能性があります。

②企業規模や業績によらず取り組むことができます

サステナビリティ経営は、大企業や業績が良い企業だけが取り組むものではありません。中小企業でも積極的に取り組み、効果・メリットを感じています。企業規模や業績にかかわらず、継続して取り組めるものであり、業績が厳しい中小企業でも現状の打破につながる可能性があります。

③環境変化に対応できる「打たれ強い経営」につながります

サステナビリティ経営は、コロナをはじめとする事業環境の激変やショックに耐えられる「打たれ強い経営」につながるようです。会計の見える化など企業統治力の向上と相まって、いわば、ワクチンのように経営の免疫力を高める可能性があります。

 **大同生命保険株式会社**

本社(大阪) 〒550-0002 大阪市西区江戸堀1丁目2番1号
(東京) 〒103-6031 東京都中央区日本橋2丁目7番1号
<https://www.daido-life.co.jp/>

※ご興味を持っていただけましたら、「調査研究報告書」もご一読ください。大同生命のホームページよりご覧いただけます。



https://www.daido-life.co.jp/knowledge/joint_research/kobe.html

